

くわなべついでんほんとうじほうおんこうあんない
桑名別院本統寺報恩講案内 (21日)

- 7:00～ 初^{しよじんじょう}晨朝 法話 池^{いけだ}田^{とおる}徹氏
- 10:00～ 初^{しよにちちゅう}日中法要
- 11:10～ 法話 花^{はなやま}山^{こうすけ}孝介氏 (東員町 遍^{へんそうじ}崇寺住職)
- 13:30～ 中^{ちゅうたいや}速夜法要
- 14:45～ 親鸞聖人讚仰講演会
法話 福^{ふくしま}島^{こうさい}光哉氏 (大谷大学名誉教授)

親鸞聖人讚仰講演会

宗門には、教学の研鑽と興隆を目的として、全国組織の「真宗教学学会」があります。三重教区ではそれを受けて、2009年に教区内の教学の振興を図るために三重真宗教学学会が設立されました。

本学会の目的のひとつとして教区内における教化活動への寄与を掲げており、このたびは、その一環として、桑名別院の報恩講に別院と共催という形で「親鸞聖人讚仰講演会」を開催することになりました。広く皆様のご聴講をお待ちしております。

三重教学学会会長 田代 俊孝

○日 程 21日 (金) 午後2時45分から4時まで
講 師 福島 光哉氏 (大谷大学名誉教授・真宗大谷派講師)

お 齋^{とき}

お齋とは各寺院・御門徒宅での報恩講はじめ法事などの仏事に出される食事のことです。元来仏教の出家者は1日1食とされ、正午以後に食事をするのは「非時(ひじ)」として禁止されてきました。そのことから午前1度の食事を「お齋(おとき)」といいました。

「寄り合い」や「講」として、ご門徒が寺や道場に集まり、仏法を聴聞し、持ち寄った野菜で料理を作り、一緒に食事をするを通して人と人のつながりを深め、信仰を確かめ続けてきました。中でも真宗門徒にとって一番大事な仏事「報恩講」にその伝統が引き継がれているのです。

桑名別院の報恩講においても、三重県内各地のご門徒より材料が持ち寄られ、お勝手方によって独自のお齋を用意いただきます。

ほうようしだい 法要次第

7:00~
しょうしんげ
 正信偈
ねんぶつさん
 念仏讚
わさん
 和讃
えこう
 回向
おふみ
 御文

しよじんじょう
 初晨朝
そうしくめさげ
 草四句目下
どうぼうしょうわ
 同朋唱和 (上-30丁右)

ゆり
 淘三 (上-99丁右)

みだじょうぶつ
 弥陀成仏ノコノカタハ
しだいらくしゅ
 次第六首

がんにしきどく
 願以此功德

さんかじょう じょうめだい つう
 三ヶ条 4帖目第6通

10:00~
もんるいげ
 文類偈
ねんぶつさん
 念仏讚
わさん
 和讃
ごへんがえし
 五遍反
えこう
 回向

しよにつちゅう
 初日中法要
しんしくめさげ
 真四句目下 (上-75丁右)

ゆり
 淘八 (上-129丁右)

こうみょうつきひ しょうが しだいらくしゅ
 光明月日二勝過シテ 次第六首 (上-146丁左)

がんにしきどく
 願以此功德

13:30~
しょうしんげ
 正信偈
ねんぶつさん
 念仏讚
わさん
 和讃

ちゅうたいや
 中速夜法要 (楽)
しんしくめさげ
 真四句目下 (上-75丁右)

ゆり
 淘八 (上-129丁右)

さんじゅうねんぶつ つけもの
 三重念仏 附物

じっほうみじんせかい しだいごしゅ
 十方微塵世界ノ 次第五首 (上-181丁左)

みだみょうごう
 弥陀ノ名号トナヘツ、 六首目 (上-139丁右)

ごへんがえし
 五遍反

えこう
 回向

おふみ
 御文

せそんがいつしん つけもの
 世尊我一心 附物

ちゅうこいらい じょうめだい つう
 中古已来 4帖目第5通

※ () 内は「おたにしょうみょうしゅう
 大谷声明集(緑本)」です